

令和6年度第1回大阪府日本万国博覧会記念公園運営審議会概要

- 日 時：令和6年6月13日（木）15時00分～16時10分
- 場 所：大阪府日本万国博覧会記念公園事務所 第2応接室
- 出席委員：清水会長、阿多委員（リモート）、玉置委員、南雲委員、三木委員（リモート）、山田委員
- 事務局：府民文化部副理事、万博公園事務所所長 他

I 開会

II 議題

（事務局より万博記念公園の管理状況について説明）

（事務局より緑整備部会における審議状況について説明）

（事務局より万博記念公園駅前周辺地区活性化事業の進捗状況について説明）

（清水会長）

事務局からの説明について質問・意見を願います。

（玉置委員）

コロナ禍を脱して、いよいよコロナ前の入場者数に戻ってきたということで非常に安心している。また、今年に入って、月によってはコロナ前を上回る人数を記録している。今年度の集計は過去最高になるかとも思うが、来園者が戻ってきて、さらにこの先というものがあると思う。

よくいろんな自治体の会議に顔を出しているが、メディア露出等の情報を出されることが多い。最近では、橋本環奈さんのドラマもあるなど、他の観光地に比べてもよく取り上げられているが、今どれぐらい世の中に万博記念公園というものが取り上げられているのかは、僕らが審議していく上で、重要なファクター。細かいところまではいいが、ある程度こんな形で露出しているみたいなものを会議の場で簡単にまとめてもらえると、世の中の的にはこれくらい目立っているというのがわかると思う。

また、指定管理者を含めてどういう露出をされているか。例えば、駅のポスターとか動画とか、いわゆる宣伝。どういう広報戦略をとって世の中に対してアピールしているという、メディア的な露出のデータもいただけるとありがたい。何となく目につくので、よく出ていると思うが、これから重要文化財を目指し、ゆくゆくは、例えば最近目にされると思いますが、今年のワシントン・ポストの「人混みを避けて訪れたい世界の12都市」に福井県が選ばれた。また、ニューヨーク・タイムズで盛岡や山口が取り上げられている。可能であれば、海外メディアでぜひ取り上げてほしい。

万博記念公園は、急激に海外の方が増える条件になっていないと思う。万博記念公園は海

外であまり知られてないと何回も会議で言われてきたが、そのための取り組みを知るためには、メディアの現況が必要で、できれば海外の有力メディアに取り上げられると嬉しいが、それが議論できる取っ掛かりのデータとして、今後メディアの動向があると嬉しいと考えている。

(清水会長)

大事なことだと思う。海外への発信は議論になっていたと思うが、なかなか進まなかったところ。国内だけではもったいないと思うし、メディア露出は、私達のことをどう評価してもらっているのか知ることに関わると思う。

(山田委員)

入園者について、全体としては増加しているが、私の担当している日本庭園が大幅に減っていることが気になる。去年は夏が暑すぎたから、外に出るのが億劫で、夏場の集客が悪かったと想像するが。令和5年度が減った理由は分析しているか。

(事務局)

詳細な理由については分析できていない。令和6年4月にはある程度来園者数があったが5年度は改めて分析して、報告させていただく。

(山田委員)

天候条件も大いに影響すると思うので、それも含めて月ごとに見てもらいたい。

(玉置委員)

確かに全体が増えているのに、日本庭園が減っているのは不思議。日本庭園が名勝を目指すのは良いと思う。まず、日本庭園の価値を明確にもう一回見る。それから整備すべきところは整備するということが非常に大事だと思う。可能であれば、元々ここの価値というのは、万博の開業時に日本中の庭園を集めて作ったというしつらえ自体も素晴らしいが、今、日本の庭園作りは、本当にたくさんの場所にあり、世界でも人気がある。そういうものを結集して並べてみようというすごい発想でできているのだが、万博のときそのまま終わっている気もする。すごいことをしたのだから、名勝として綺麗に整備してもらいながら、この施設で日本の庭園について考え続けるという進行系のソフトの面もあると良いと思う。

僕が大事だと思っているのは、先ほど説明していただいた万博の森育成計画。先週飛騨市で市長にお会いした際、日本の元々の森をめざし、広葉樹林を生かそうとしているという話を聞いた。飛騨は森林率が約90%で、広葉樹率が約70%とのこと。日本は元々広葉樹が多く、針葉樹は戦後に木材として人為的に植えられたが、飛騨市は植えられなかった場所として比較的に残っている。

本当は国内の材木を利用する方向に転身しなければいけないというのはみんなわかっているが一度出来上がった安い材料を輸入するシステムはなかなか変わらない。だから頑張

って使うように持って行きたいと飛騨市長が言っていたが、すごく重要なことだと思う。

万博の森で目指そうとされる姿は、非常に素晴らしいと思っている。ただ、外に向けてこの話をしっかり説明する必要があると思う。森や林業がどういうものかを考えて、万博記念公園ではこういう考えでやっているということを発信してほしい。僕は正しい取り組みだと思っているので、それをわかりやすく、腰を引いたりしないで、発信していく必要があるし、そのための大きな輪が万博公園だと思う。

(事務局)

日本庭園については、今後名勝を目指しているが、どのように保存活用していくかが重要だと思っている。今回は日本庭園の登録文化財指定に向けて、先日、シンポジウムを開催した。兼六園や栗林公園、後楽園の方をお呼びして、どんな形で今管理されているのか、貴重なご意見をいただいた。

こういった取り組みを今後も続けて、単に万博公園の日本庭園ではなく、日本庭園の博物館みたいな位置づけもある、日本全体の日本庭園として打ち出していきたいと考えている。

万博の森についても外部に情報発信していく必要があると思っている。万博公園の中にある自然観察学習館では、自然と触れ合う体験をしたり、取り組みを紹介するなどの機能もあるので、それらを活用しながら取り組みについても発信していきたい。

(山田委員)

将来的に、森を切る作業を一般の方に参加してもらって市民参加型をぜひやりたい。ただ、切ってもらうので相当慎重にしないといけない。実際、バサバサした森がすっきりするのは誰が見ても美しい自然を作る行為だと思う。ぜひ安全性を担保しながら、将来的には万博の森を題材にして参加してもらい、きれいになっていく森を継続的に来て見てもらう取り組みができればいい。

現状ではどこまで切るか見極める必要があるが、将来的に派手にアピールできるイベントとして運営することが可能ではないか。いろんな情報発信が必要なので、その都度むやみに切らず、一定の理論に従ってきれいな森を作る。きれいな森ができる事例が一つでもできれば、おそらく99%以上の人は納得できると思う。

(玉置委員)

切り出した材木を活用できるといい。

(山田委員)

今はチップにするくらい。将来的にはもっと大きなものを材として持ち帰ってもらえるか。今は産廃なので無駄になる。資源として活用できるようになれば理想。

(玉置委員)

飛騨市もずっとチップにしていた。今は、家具などを一生懸命作ろうとしている。

(山田委員)

家具材にするほど大きい木にはならない。そのあたりは、小さい木を上手く使っていくほうが良い。実際、ピザ窯の薪に使っている。そういった意味でポテンシャルが大きなフィールドと思う。

(玉置委員)

子供のおもちゃを作るなどもある。

(清水会長)

ただの木でなく、万博公園で切った木でできたお土産ということに意味があると思った。一般の方に木を切ってもらう取組みとしては、大阪自然環境保全協会がボランティアを募集して行っているモデルとなる事業があると思う。森の課題はすぐに解決できないかもしれないが、長い時間かけて検討していくべきことと思う。

(南雲委員)

万博の森に関しては、以前にも話が出ており、楽しみにしている。50年経った木が大きくなり、雨風が強い時には折れてしまうものもある。老木となり、非常に危険な状況も持っているので、ある意味、再生作業、常に整備をする作業は必要だと思っている。それから、日本庭園について、去年は看板の掛替など改修工事が入っていたと思う。そういう理由で近隣の方もあまり行かなかったのでは。

また、先ほども説明にあったが、駅前周辺地区活性化事業について、現在は大阪城まで行っている我々としては便利。新大阪や伊丹からもすぐに来られる立地で非常に楽しみ。ただ、関連施設として、ホテルは必要だと思うが、共同住宅は近隣から反対運動が出ている。吹田市が条例で、外周道路の内側には共同住宅は作らないとしている中で、提案が出ているので何か付加をつけたものと考えてないと許可が出ないと考えている。

一番の問題は、週末になると、ららぽーとやPanasonic Stadiumでの試合により、外周道路は動かなくなる。出るまで時間がかかる。なので、近隣の方は自転車や歩いたり、車で行く場合は、わざわざ外して行く。今後、いろんな人流、イベントが増えてくる中で、交通問題を整理し、並行して考えてもらった上で、計画を作ってもらいたい。

(清水会長)

共同住宅の問題と交通問題は長らく課題となっている。抜本的な解決策は提示されているか。

(事務局)

交通対策については、公共交通での来場を中心と考えており、事業予定者とともに、モノレールの輸送力等の検証を進めているところ。また、自動車交通については、事業予定者と

連携して実施した周辺道路の交通量調査を基に、事業予定者とともにアリーナ開業後の交通量の変化を予測・分析し、交通対策の検討を進めているところ。

今後、吹田市の環境アセスメント手続きの中でも検討されていく。

(清水会長)

今でも試合やライブの時は1時間待ってからでないと電車で帰れないなどの課題がある。解決策を検討してもらいたい。

(三木委員)

Expo' 70 パビリオンは太陽の塔の黄金の顔も設置されて、人数が増えてよかった。

僕も提案させてもらったアート&サイエンスフェスティバルも面白いイベントだった。特に、大阪府が著作権を全て持っているので生成AIを含めた取り組みができることが、特徴だったこと、また、キュレーターが大阪万博に詳しい人をたくさん連れてきたので、過去の様々なアーカイブを取り出すなど、貴重な専門家たちの意見を聞いたこともあり良かったと個人的には思う。

今回、Expo' 70 パビリオン別館でできたことで人が来たと思うが、イベントがなくなると人は減っていくと思う。現在はキュレーターのような人がいないので、定期的に、アーカイブを使ったお祭りをする機会を設けてもらいたいと思った。

先ほど玉置委員が言ったように、国際的な評価はなかなか難しい。万博は建築の評価が高く、今回の大阪・関西万博においても、建築家が注目されていて、アートに関してはほとんど注目されていない。大阪万博においても建築が有名で、建築のことについて調べたいというニーズはある。現物がほとんど残ってないので、そういう人のためにEXPO' 70 パビリオンに建築の展示とか、建築の資料調査のアクセスとかを充実させるといいと思う。僕のところに建築の研究室の人から大阪万博のファニチャーを調べたいとか、大阪の建築を調べたいとか、様々な問い合わせや質問が来て、それを繋ぐこともある。建築に関しては世界的な評価がありニーズもある。今生きて、世界的に評価されている建築家の人にも見てもらいたいと思うので、建築の方向でも充実させてもいいと思う。

先ほど木の話が出たが、木の再生という意味でも、大阪・関西万博では、建築において今木材が一番注目されてるということで、大屋根リングを作っており、木材の利活用が遅れるという問題意識を持って木造建築に取り組んでいる。現在の活躍している建築家やデザイナーの力を借り、間伐で出た木材を再利用するというのもやっていいと思った。

庭園に関しても、今生きている建築家、ランドスケープデザイナーとか、ミュージシャン、今を生きている人と協力し、活性化するプログラムを定期的実施するなど、今の視点から評価してもらってもいいと思う。大阪・関西万博が終わったら注目される機会がどんどん減ると思うので、それまでにできればいいと思う。そういった方々が国際発信してくれたら、70年万博が重要だと思って来てもらえると思う。

(阿多委員)

今回いろいろな進捗の報告や、取り組みの概要を報告された。私も実際に EXPO' 70 パビリオン別館の展示等を見て、面白く、非常に良かったと感じたが、一方で、今回、デジタルに関する取り組みについてクローズアップされてないと感じた。

ビジョン策定時に公園のデジタルトランスフォーメーションに関わる部分を入れているが、デジタルの分野は陳腐化が早い。実施した時にはすでに古くなっているということもあるので、デジタル化の取り組みは新しいものを早く入れるように、引き続き予算要求も含めて、できるところから、目に見える形で進めてもらいたい。

(事務局)

今、指定管理者と、園内利用者がデジタルを用い、快適に過ごしてもらおう取組みを協議しているところ。例えば、今は紙のマップしかないので、デジタルマップにして自分の位置情報や様々な情報を入れることなどを考えている。

(玉置委員)

マップの話が出たが、例えば京都のストローリーであれば、祇園祭等もすべてデジタルマップ対応だし、僕が理事をしているメタ観光推進機構ではゼンリン等と組んで取り組んでいる。今、日本中の自治体で紙のマップがデジタルに置き換わっている。双方向的なサービスもあるので検討してもらいたい。

前から議論されているデジタルアーカイブについて、万博記念公園 HP でも 70 年万博の懐かしい写真を見られるが、そうではなく、例えば、論文の根拠に使える膨大な数の大阪万博の資料が保管されている。ちゃんと残されているのは素晴らしいが、前から三木委員も言っていたように、それをデジタルアーカイブに整備して、公開してほしい。

大阪府は今後、積極的に大阪府下の文化財をデジタルアーカイブにしてほしい。例えば、メトロポリタン美術館は商業利用 OK で完全公開。そういうことができる自治体はそうないと思うので率先してやる。大阪万博に対するノスタルジーもあり、使いたい人もいると思うので、アーカイブを作って、公開していくことができれば研究者も使えるし、あるいは商業利用も簡単にできると思う。

三木委員、デジタルアーカイブの意味というものについてご意見を願います。

(三木委員)

アーカイブは触らないと何もない状態なので、いかに公開し、利用できる状態にするかが重要。本を作ろうと思ったら、必ずデジタルアーカイブを検索することになる。例えば、大阪の歴史の本を作ろうと思ったら、地図は国立日本文化研究センターにアクセスしたり、大阪府立図書館にアクセスしたり、市立図書館もある。市の図書館は昔のアートや古文書を公開しており、そういうものを利活用する人はどこに行けば何があるかわかっている。

大阪万博のものは大阪府にしか濃いものはないので、そういうのを積極的に利用する。国際日本文化研究センターは良いアーカイブを作っていて、お金を取っている。それは指定管理にすればいいのかわからないが、利用料金を取ればいいと思う。もちろん海外みたいにタ

ダで全部公開して、公共のためにできるのであればいいが、難しければ、まずは利用料金を取ることで良い。万博を忘れてしまってる人、知らない人、それが重要だということも知らないけど、文献からたどってくる人もいると思っており、そういう人のために理想的にはオンラインで全部公開できたらいいが、何段階かあると思う。

(事務局)

大阪府が所有している多くの資料を順次電子化しており、今後、活用も視野に入れて進めていきたいと考えている。

(玉置委員)

今後の見通しを今後教えてもらえたらいい。いつまでに整備して公開、という進捗について。

(清水会長)

進捗が分からない部分もあるので、少しの進捗でも報告してもらえれば審議できると考えるのでよろしく願います。

私も来園者数について、過去最高になり良かったと思う。外国人の内訳、増加時期、目的などは内容の分析として、また別の段階だと思いがしてもらいたい。

来年、大阪・関西万博が開催される。先ほどの意見の中にアートや建築の話がでたが、大阪の美術館や施設と連携しながら、大阪万博の展示をすることは考えているか。外国人旅行者も美術館に來たりするので、そこでまず興味を持ってもらい、万博公園に足を運んでもらうことができると思うが、そういった公の施設との連携も考えていかないといけないと思った。

また、資料2に世界遺産登録に向けてと書いてあるが、前からあった話か。

(事務局)

議会での議論を踏まえながら、まずできるところから取り組んでいくということで、建築から50年経った際に太陽の塔の登録有形文化財の登録を行った。その次として、重要文化財の指定に向けて取組むなど、世界遺産に向けた機運を盛り上げていくことが今後の取り組みになると考えている。

(清水会長)

承知した。これで、今回の審議会を閉会とさせていただきます。

4. 閉会